京都外国語大学校友会教志会
平成 23 年度英語授業実践報告・研究会　報告書

作成　教志会　書記　小谷　博樹



日時　：　2011 年(平成 23 年) 7 月 31 日（日）
午前 9 時 50 分から午後 4 時 30 分まで
場所　：　1 号館　3 階　135 教室
参加者　：　約 20 人

1）開会挨拶
教志会　会長　　田中　道博



2）講演
講師　京都外国語大学教授　マーク　ウイリス　先生
演題　“Why Reading Stories and Poems Still Matters Today”
日本人学生は literature という言葉に否定的なイメージを持ち、身近に感じることが出来ない。そこで、literature を‘reading stories and poems’と言い換えることを提唱されている。‘reading stories and poems’からは色々な価値観で書物を解釈できる楽しさや、異文化理解など様々な発見があることや、学生が親しみを感じるようになるまでの授業での取り組みを紹介された。

3）役員紹介

4）昼食　懇親会　（リブレにて）

5）実践報告
大阪府教育センター付属高等学校　森下　信明　先生
「ＰＩＳＡ型英語教育とは～全国初センター付属研究校での取り組み～」
論理的・総合的に考える力が必要とされるＰＩＳＡの考えを基に、思考力を養い英語での表現に繋げる事を目的とした授業を展開されている。高校生が震災の画像を見て考えたメッセージを班毎に発表する様子をビデオで紹介。先生の熱い指導に生徒達は授業に引き込まれていた。



6）ミニ模擬授業



参加者が 4 人ずつの班に別れ、「仮定法」「時制」などを題に一人 5 分間の模擬授業を行った。その後、班の代表一人が全体で発表。楽しい導入法などさまざまなミニ授業が展開された。現役学生の発表にはエネルギーが感じられ好評を得た。



7）閉会

以上